

天草空港開港・天草エアライン就航15周年を祝う
天草空港開港15周年記念イベント



▲紙飛行機を飛ばす参加者

天草空港開港と天草エアライン就航15周年を祝おうと3月22日、五和町城河原の同空港の交流広場で記念イベントが行われ、家族連れなど3,000人が来場しました。パイロットや客室乗務員とのトークショーや航空に関するクイズ大会が行われたほか、飛距離やデザインを競う紙飛行機飛ばし大会を実施。同大会に参加した60人は、自分で折った紙飛行機を懸命に飛ばしていました。

戦没者を慰霊し、世界の恒久平和を願う
第10回天草戦没者追悼式



▲献花を行う参列者

4月4日、戦争で尊い命をなくされた戦没者の霊を慰めるため、天草市・上天草市・天草郡苓北町の2市1町合同による「第10回天草戦没者追悼式」が天草市民センターでしめやかに開催され、戦没者の遺族など440人が参列しました。戦没者之霊位に献花を行い、亡くなられた人たちのめい福をお祈りするとともに、戦後70周年にあたりあらためて、世界の恒久平和を祈念しました。

春のひとときを満喫
一町田地区さくらまつり



▲桜並木を歩く参加者

3月28日、河浦町の一町田地区振興会主催の「一町田地区さくらまつり」が同地区コミュニティセンター周辺で開催されました。コレジオ庭園周辺と一町田川周辺の桜の開花にあわせて行われたもので、同地区コミュニティセンターでは、小・中学・高校生による青少年音楽祭を実施。また、同会場周辺では、ウォーキングが行われるなど、参加者は春のひとときを満喫していました。

海と山の魅力を発信しよう!
天草市と高森町の交流連携協定



▲握手を交わす中村市長と草村町長

市と高森町は3月19日、観光やまちづくり、防災などの交流連携協定を結びました。沿岸部と山間部で距離の遠い両市町が、事業やイベントなどを協力して実施することにより、互いの地域活性化につなげようと結ばれたもの。天草市役所で行われた調印式では、中村市長と草村大成町長が協定書に署名し「海と山というお互いの特性を地域活性化に結びつけたい」と話されていました。



▶ライトアップされた桜と竹灯籠

地域に新たな名所
上津浦城跡桜のライトアップ・竹灯籠点灯

3月30日、有明町上津浦城跡で桜のライトアップと竹灯籠点灯が行われました。“上津浦を祇園様の桜で元気にする会”が、上津浦城跡を地域の新たな名所にしようと初めて実施したもの。夜になり、桜のライトアップや竹灯籠に灯が灯されると、地元住民など約100人が来場。幻想的な風景に来場者は「ほんとうにきれいですね」と感動したようすで見入っていました。

少年剣士たちが熱闘!!
栖本町少年剣道大会



▲熱戦を展開する剣士たち

3月21日、栖本少年剣道クラブ青志会主催で毎年開かれている「栖本町少年剣道大会」が栖本中学校体育館で行われ、市内外から小・中学生38チーム・190人が参加しました。小学生の部・中学生の部に分かれ、1チーム5人の勝ち抜き戦で熱戦が展開されました。5人抜き達成や大逆転劇、華麗な一本が決まった瞬間は、会場から大きな歓声が上がするなど、とてもにぎわいました。

地域の活性化を目指して
本渡まちづくり発表会



▲事例発表のようす

3月19日、本渡まちづくり協議会主催の「本渡まちづくり発表会」が天草市民センターで行われ、142人が来場しました。本渡地域まちづくり計画の概要紹介のあと、佐伊津・宮地岳・下浦・本町・本渡南地区振興会がまちづくりの事例を発表。地域全体で子どもを育てる取り組みや、寺子屋体験、かかしを使ったまちづくりの取り組みなどの発表に、来場者は熱心に聞き入っていました。

島で“ほっこり”春を感じよう!
島おこしイベント「島桜」



▲桜の植樹をする参加者

3月29日、御所浦島おこし隊によるイベント「島桜」が開かれ、町内外から300人が参加しました。同隊は、御所浦を元気にしたい若者の集まりで、イベントは今回で2回目。桜の植樹体験やクルージング、体験型ワークショップ、フルーツカービング、物産販売などの催しが行われ、たいへんにぎわいました。主催者は「今後もこのイベントを継続していきたい」と意気込みを語っていました。